

授業科目名	舞台芸術入門	担当教員	杉山 至 深澤 南土実 李 知映 河村 竜也
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2年第1クォーター		
講義内容	舞台芸術作品をつくるに際して必要な事柄を、演出家や舞台監督の役割、舞台美術の仕事、大道具備品の構成と管理、照明・音響の操作、作品の取り扱いや管理、および劇場運営や広報の意義、舞台芸術作品の劇評や創作の背景等を一通り学び、舞台芸術全般について基礎的な知見と理解を得る。		
到達目標	舞台芸術作品を巡る事柄について、危険の回避等も含めて、基本的なことを説明できる。		
授業計画	1回目 授業概要説明ガイダンス (担当 担当教員全員) と 舞台スタッフワーク 1 (舞台美術、舞台大道具、劇場機構について) (担当 杉山 1) 2回目 都市と劇場文化 (担当 李 1) 3回目 舞台芸術作品の進行(担当 河村 1) 4回目 舞台芸術業界において専門家とは何か (担当 李 2) 5回目 舞台スタッフワーク 2 (舞台音響の基本について) (担当 杉山と外部講師 (牛川)) 6回目 セノグラフィの発想を歴史から概要 (担当 杉山 2) 7回目 仕事を発注する、発注を請ける(担当 河村 2) 8回目 誰が劇評を書くのか (担当 李 3) 9回目 舞台スタッフワーク 3 (舞台照明の基本について) (担当 杉山と外部講師 (魚森)) 10回目 舞台芸術における作品と創作背景 (担当 深澤 1) 11回目 身体と映像 (担当 深澤 2) 12回目 振付とダンサー (担当 深澤 3)		
事前・事後学習	参考文献の一読など、授業内で指示。		
テキスト	授業中に配布		
参考文献	平田オリザ『演劇入門』(講談社現代新書 1998 年)、『演技と演出』(同 2004 年)、深澤南土実『バレエ・デ・シャンゼリゼ：第二次世界大戦後フランス・バレエの出発』(法政大学出版局)		
成績評価の基準	授業への取り組み (リフレクションシート、授業内課題を含む) 100%		
履修上の注意 履修要件	1年次配当科目「パフォーミングアーツ概論」を受講していることが望ましい。		
実践的教育	該当しない。		
備考欄	履修希望オーバーの場合は抽選となる。		